

宮崎大学医学部教授板井孝亮さんは、京都大学大学院で倫理学を専攻され、2002年から宮崎大学で臨床倫理についての教育と実践に活躍されています。

板井さんは、倫理という一見近寄りがたい深刻なテーマを、わかりやすくユーモアを交えて説明してくださいます。たまに「スベル」こともあります。今回は平成25年度から始められた宮崎市版エンディング・ノートについて、板井さんが中心となって作成した経緯や現在の状況と今後の課題などについてお話しいたします。是非この機会に、個人として「人生の最期の時間をどこで過ごし、どのような医療を受けたいのか、誰に委ねるのか」を見つめなおし、また支援する側としてこのような冊子を導入できないか、など考えていただければと思います。

“わたしの想いを
つなぐノート”
(略称：わたしノート)

わたしが“わたしらしく”生きるために・・・

宮崎市 MIYAZAKI CITY

名前
生年月日

※このノートの使い方は「書き方の手引き」を参考にしてください。